

J K 行動評価表

考課期間 年 月 日 ~ 年 月 日

評価対象者	氏名		評価者	氏名		評価基準	評価点	評価の目安
	職種			職種			4	優秀行動が頻繁に認識できる
	職務グレード			職務グレード			3	標準行動が頻繁に認識できる
	役職			役職			2	標準行動が認識できない
						特記事項	1	問題のある行動が認識された

分類	項目	評価点		4		3		2		1		評価	
		定義		優秀行動		標準行動		標準に満たない行動		いけない行動		自己	上司
達成行動	先見の主導力	先見性を持って、依頼されたり、必要に迫られたりする前に、チャンスをつかえ、期待される役割を広げて、仕事や課題に取り組む能力。	将来に起こりうる変化を予測し、そのために今から対応しておかなければならないことは何かを判断し、自らそれを実行している。	求められる以上の効果をあげるために、よりよい方法を考え、それらを自らが率先して実行する。	行動や出来事の結果、次にどうなるのかを前もって考える。	義務でなくても、状況の変化に応じて、やらなければならないことが出てくれば、それに対応するための行動を自主的に取る。	自ら進んで行うことは少ないが、指示されたことは確実に実行する。	指示されたことであっても、時には実行しないことがある。					
	達成行動力	過去の実績、他者のレベルなどと比べ、より高い成果を生みだそうとする意欲、ならびに意欲的な目標や革新、イノベーションを達成しようとする意向。	標準的なレベルでは飽き足らず、常にチャレンジングな目標を設定し、その達成のためにあらゆる手段を駆使する。チャレンジングな目標に挑戦する一方、万一のことを考えて別の対応策を準備しておく。		達成しなければならない目標を自分で理解し、その達成に向けて努力している。自分の目標達成のためにあらゆる手段方法を駆使する。	達成しなければならない目標を自分で理解し、その達成に向けて、一通りの努力をしている。達成できなくても一通りのことをすればよいという程度の達成意識である。達成のために新しく工夫したりすることなく、従来のやり方を繰り返している。	目標が明確になっていない、または目標があっても達成しようという意識が薄く、惰性で仕事を繰り返しているだけである。						
戦略立案行動	情報収集力	与えられた情報だけでなく、自ら広く高感度なアンテナを使って、正確で有用な情報を的確に探し求める意向。問題解決や将来必要となるかも知れない潜在的な機会を探るために、事前に調べ、直接現場で確認し、ネットワークを利用して関係者から幅広い情報を得る。	関係をもっていないところでも情報の収集に向かい、広く正確な情報を集める。独自の情報ネットワークをもち、普通の人には得られない情報を的確に入手している。一つの情報だけに頼らず、複数の情報源によって、情報の客観性を得ている。		周囲の友人や先輩などから情報を得る。ただし、それらの人から十分な情報を得られない場合、それ以外の人から広く情報を集めている。一般の情報誌等からの情報を広く集める。	自分から積極的に情報を集めることはないが、朝礼や会議などで情報を収集している。受身ではあるが情報収集をしている。	情報を収集しようという意識がなく、朝礼や会議での話もしっかり聞いていない。						
	業務企画力	仕事の目的を達成するため、その方法や手段を効果的に立案し、展開できる能力。	現実に関社の収益が大幅に向上するような、新しい方法・技術を企画立案し、実現している。業界全体が目指すような、新しい方法・技術を企画立案し、実現している。		費用対効果や、他部門への影響等を考慮して、効率的・具体的計画を立て仕事を進めている。有効な改善案を自ら提起し、実現に向けて効果的、具体的方法を繰り返し上げている。	費用対効果や、他部門への影響等を考慮して、効率的・具体的計画を立て仕事を進めているが、時々途中で挫折し、結果的にマイナスが生じることがある。	自ら新しいことを考えることはなく、前例を踏襲するだけである。						
対人行動	対人理解力	他者に対して関心を持ち、相手の考え、気持ち、関心などを相手から言われなくても正確に理解、察することのできる能力。	相手の伝えようとする内容を、的確に理解するだけでなく、自分のことのように共感し、相手の立場を考えた対応を考えている。相手の性格や行動の特徴など、相手の考えや気持ちの背景までを含めて理解し、相手が受け入れやすい対応をとっている。		相手の伝えようとしていることは、その言葉の内容とそれにまつわる相手の感情を含めて理解している。言葉では明確に表現されていないことでも、相手の雰囲気からその通りに正しく察している。	言葉で表現されたことは正しく理解している。言葉だけで理解しようとするため、真意が伝わらず誤解することがたまにある。	注意や忠告には耳を貸そうとしない。話を聴こうという気持ちが薄いため、言葉で表現されたことも忘れて誤解したりする。						
	プレゼンテーション	伝えようとしている内容を、的確かつ説得力を持って表現している	提案後の質問がプレゼンにおける最大の商機であるとの認識の下に、どのような質問に対しても、広範な知見を援用しながら即座に明快な回答をして信頼を獲得している。		提案内容が顧客（または上司・同僚・後輩）の課題にマッチしているだけでなく、提案書の構成は簡潔でなおかつ図表を豊富に用いて論理展開をスムーズに相手に理解させる完成度の高い表現になっている。	提案書の構成が簡潔で、なおかつ論理的つながりがあり、顧客（または上司・同僚・後輩）に提案内容の円滑な理解を促しているが、説得まで至らないことが多くある。	提案内容が顧客（または上司・同僚・後輩）の課題にマッチしていない、あるいはマッチしていても提案の仕方が悪くて、先方には理解してもらえないことが多い。						
	顧客サービス力	自分や所属組織の都合を相手に押しつけるのではなく、また相手自身も明確に意識していないような潜在ニーズも、相手の立場に立って的確に理解、把握することによって効果的な対策を講じ、長期的な相互のベネフィットを高めることのできる能力。	相手に通常求められている以上の高い満足感を持ってもらうにはどうすればいいかを常に考え、それを実現するための方策を自ら実行している。相手自身も気付いていない問題を理解し、解決のために手助けする。		関係者の満足度を常に考え、満足していない所があれば、理由を聞きだし、それに応えている。指摘されなくても、様子などから、相手が何を求めているのかを敏感に察知し、その求めていることに応えている。	顧客（または上司・同僚・後輩）の要求に対し「できません」ではなく「どうすればできるか」の視点から考えるが、良い考えが出ず結局できないことが多い。	顧客（または上司・同僚・後輩）の要求に対して、「できません」という態度で対応している。						
協働の精神	効果的に仕事を遂行するために、自ら苦勞を買って出る。	他のメンバーの能力や行動の特性を把握し、状況に応じて動機づけたりしながら、グループ全体の前向きな雰囲気を作り上げている。グループ内に問題や確執が起ころうとしても、それを前向きに解決している。		自分から進んで他のメンバーに協力し、援助を行っている。グループの仲間の知識や能力を評価し、敬意を払っている。他人が嫌がる仕事でも、率先して行っている。	自分に余裕がるときは、依頼された協力要請に応じ、他のメンバーの協力をしている。	自分に余裕がるときでも、依頼された協力要請を断ったり、要請を受けても一生懸命に協力しない。							
自己管理	自己啓発	自己の足りない部分や知識・技能を自ら積極的に取り入れている。	現状の仕事をするにあたって、特に不足はしていないが、更なる向上を目指して自ら知識や技能のレベルアップを目指して勉強や訓練をしている。		現状の自己の不足している知識や技能を認識して、それを引き上げるように自ら勉強や訓練をしている。	現状の自己の不足している知識や技能を認識しているが、それを引き上げるよう自らは勉強や訓練をしていない。上司先輩に言われたことは、実行している。	現状の自己の不足している知識や技能を認識していない。また、認識していてもそれを引き上げるための勉強や訓練は上司に言われてもあまり行わない。						
	柔軟性	異なる状況や組織、人、考え方などに素早く適応し、自分のやり方をそれに合わせる。	自分やグループの目標や計画を状況に応じて柔軟に変更している。大事に至る前に、関係上司・同僚らを巻き込んで、対処方法を煮詰めている		異なる条件や対立する意見の背景を理解し、自分の考えや行動を状況に応じて柔軟に使い分けている。突発事件が起きた場合、すぐに工程表・計画表の組み直しをおこなっている。	自分の考えや行動を状況に応じて柔軟に使い分けることが苦手で、時にはワンパターンの発想や行動になってしまうことがある。突発事件が起きた場合、工程表・計画表の組み直しに時間がかかる。	自分の考えや行動を状況に応じて柔軟に使い分けることができない。突発事件が起きた場合、パニックに陥り工程表・計画表の組み直しができない。						
	コスト意識	費用対効果を常に考え、最低限のコストで業務遂行をしている。	自分の業務内でのコスト削減だけでなく、部門内、会社全体のコスト削減についても、有効な提案を行っている。		不必要な長電話をしない、裏紙へのコピーなど、小さなコスト削減を自ら実行している。取引業者に対しては、常に最低価格で提供していただけるよう交渉している。	自ら考えて行うことは少ないが、上司に言われたコスト削減のための行動は、ほとんど守っている。	コスト削減よりは自分の都合が優先し、自分がちょっと気をつければできる小さなコスト削減もほとんど実施しない。						
	専門知識	業務を高レベルで遂行するための最新知識と最新技能を備えている。	この専門知識・技術では業界トップレベルと言えるものが1つ以上持っている。		担当業務における専門知識を完璧に身に付けている。業界・業務の知識、最新技能の修得に関しては、周囲より一歩先んじている。	担当業務における専門知識・技術を完璧ではないが一通り身に付けており、業務遂行においては全く支障がない。	担当業務における専門知識・技術が身に付いておらず、業務遂行において支障をきたすことがある。						